

「均等推進企業部門」東京労働局長優良賞

ソニー株式会社 に

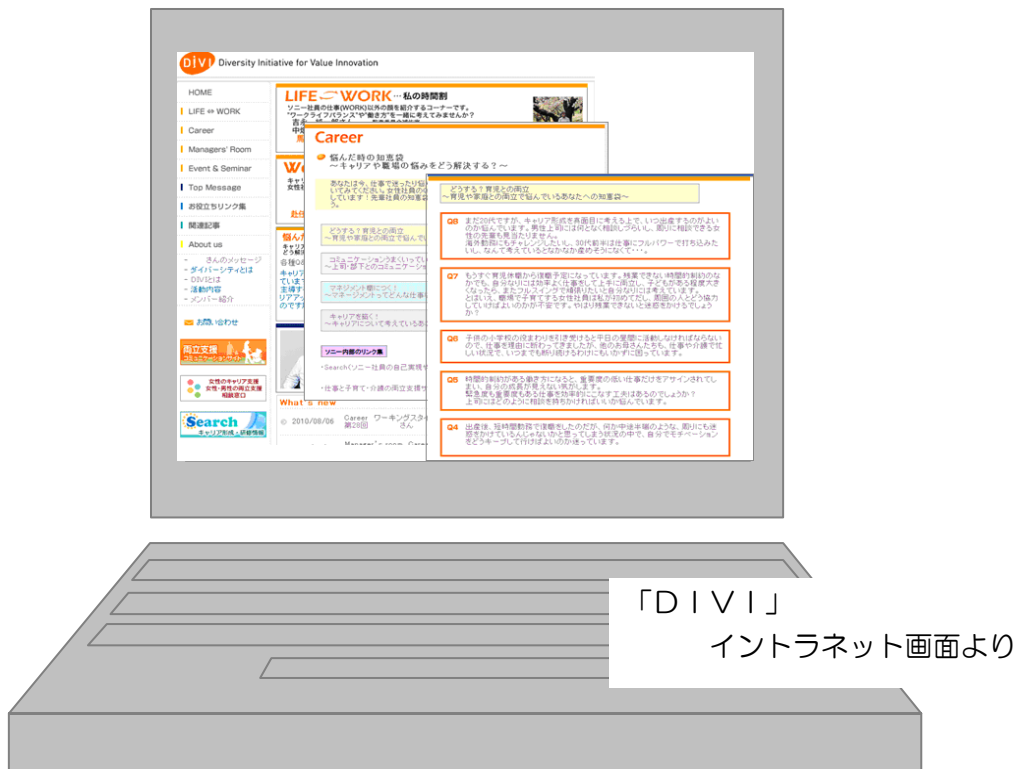
インタビューに行ってきました！

既に「個性が尊重されている」「女性が活躍している」というイメージのソニー。そんなソニーが更なる取組の余地ありと考えたのはどんな点なのか、これまで以上にできることとは何なのか、他社にとっても参考となるのではと考え、インタビューに行ってきました。

担当の方によると、ソニーの女性活躍推進は、「多様性という視点で改めて会社の中を見直し、よりクリエイティブで活気に満ちたソニーにしていく」という取組のファーストステップとして実施されたとのこと。単なるトップダウンではなく、1人1人が女性活躍推進について考え、より能力を発揮できる風土を作り上げた点に底力を感じました。また、もともと個性が尊重され能力が十分発揮できる土壌がある状態から、その良い面を更に高めていこうという取組は、現在のポジティブアクションの定義を超えた一歩先のポジティブアクションとの印象を持ちました。

【注】ポジティブアクションの定義

男女労働者に事実上生じている差を解消するための企業の積極的取組



「DIVI」

イントラネット画面より

■ 社内ダイバーシティプロジェクト DIVI@Sony 代表
VP 環境推進センター長 高松和子氏からのメッセージ

ソニーは創業以来、社員一人ひとりの個性を尊重し、その能力を最大限に発揮できる組織風土を大切にしています。その中で日本においても過去から多くの女性社員が活躍していますが、ビジネス環境・社会環境が大きく変わる中、社内における女性社員の力は更に活かされる余地があると考えています。

また、ビジネスのグローバル化がますます進む中、ソニーグループ全体においても女性をはじめとする多様な人材が活躍しやすい風土を醸成していくことが、ビジネスの発展・成長のためにも重要だと考えています。

■ ご担当者の声

多様な人材が活躍しやすい風土醸成を、まずは女性の活躍を切り口に「女性社員のキャリアパイプライン形成」「働き方の支援」を推進しています。

これまで以上にあらゆる組織、階層で女性社員が活躍する状況を目指して採用や育成に力を入れています。また、男女全ての社員が、育児などのライフイベントを上手くマネジメントしてよりよく働くことのできる環境を制度、風土の両面から整備しています。

東京労働局長優良賞を頂いたことを励みに、これからも女性をはじめとする多様な人材がいきいきと活躍し成長する風土作りを進めていきます。



■ 女性労働者の声

入社以来、男女の違いを特別に意識することもなく働いてくることができましたが、会社の研修や女性社員座談会に参加する機会を得て、それまで気がつかなかった多くのことを知ることができました。仕事の枠をさらに広げる意識や、ライフイベントとキャリアの考え方など大変参考となりました。これからも実践したいと思いき、上司や後輩にも提案をしていきたいと思いき。

■ 男性労働者の声

仕事の配分や評価など部下のマネジメントにおいては公平を旨としていますので、性別を意識することなくマネジメントをしてきました。この基本線はこれからも変えずに部下に接したいと思いき、一方で最近では一人ひとりの個性に着目することの大切さを感じるようになってきました。性別も個性のひとつであり、個性に応じたマネジメントとコミュニケーションを心掛け、持ち味をさらに伸ばすことで部下の成長をサポートしたいと思いき。